受理印(受付：　年　月　日)

課題番号：



九州シンクロトロン光研究センター

2022.1

包括利用申込書

|  |  |
| --- | --- |
| 利用申込年月日 | 西暦　　　年　　月　　日 |

|  |
| --- |
| 業務課題名 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主任担当者 | | | | | | | |
| （氏　　　名） |  | | | （ローマ字名） | |  | |
| （所属、職名） |  | | | | | | |
| （住　　　所） | 〒 | | | | | | |
| （連　絡　先） | TEL |  | | | FAX | |  |
|  | E-mail | |  | | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験参加者   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 氏　　　名 | 所　　　　属 | 職　名 | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 測定手法及び測定時間  ・事前打合せの際確定した内容をご記入ください。   |  |  | | --- | --- | | 使用ビームライン及び測定手法 | （記入例）BL11：硬Ｘ線ＸＡＦＳ、BL15Ｘ線回折） | | 測定時間 |  | |

測定試料

・主任担当者の所属機関の安全基準を満たしていることが必要です。

・他の実験者および当センター職員の安全確保のため、または法令に準拠して当センターの判断で測定を制限することがあります。ご承知おきください。

・国際規制物質（核燃料等）および放射性物質を扱う測定、動物測定（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）、組換えＤＮＡ測定等は現在実施できません。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | \*\*1  試料名称  「物質名(化学式)」 | \*\*2  形態(外観) | \*\*3  数・量・サイズ | \*\*4  特性 | \*\*5  対策 | \*\*6  SDS提出 | \*\*7  使用  目的 | \*\*8  リスク  レベル |
| 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注：以下の例に従って記入し、行数不足時は追加してください。）

\*\*1：試料名称は、「**物質名（化学式）**」の形式で記入。物質名は試薬品名等（略号は用いない）。

化学式は元素記号で表記し、組成やドープ量の異なる試料は別々に記入して下さい。

（記入例）酸化チタン(TiO2)、鉄(Fe)/シリコン(Si)等。

但し、生物試料の場合、名称は以下の形式で記入して下さい。

①「由来する生物種名・部位名等」。由来する生物種名は、学名または標準和名。部位名等は、部位、組織、器官、物質名等。

（記入例）ウシ・骨、ミカン・葉、酵母S.cerevisiae・菌体、ミラクルフルーツ・Thaumatin、ウシ・胸腺DNA等。

②遺伝子組換産物等で由来する生物種と発現生物種が異なる場合、発現生物種名　も記入して下さい。「由来する生物種名と産物名(発現生物種名)」

（記入例）ヒト・リゾチーム(大腸菌発現)等。

③試料中に試薬（固定化剤、緩衝剤および添加物等）が含まれる場合、それらの物質名(化学式)も併せて記入して下さい。

（記入例）リン酸ナトリウム緩衝液(Na2PO4）、塩化セシウム(CsCl)を含む等。

\*\*2：形態は測定試料等の形状。外観は試料全体形状。

（記入例）薄膜(Siウエハ)、粉末(キャピラリ)、液体（密封ポリ袋）、植物体（シャーレ）等。

\*\*3：数・量は、試料の個数・一試料あたりの重量等。サイズはタテ×ヨコ×厚さ等。

（記入例）5枚・0.1g、10×10×0.5（単位mm）。

\*\*4：特性はSDSで「2.危険有害性の要約」の項を確認のうえ、無害、爆発性、引火性、可燃性、自然発火性、禁水性、酸化性、急性毒性、腐食・刺激性、発がん性、特定有害性、高圧ガス、生物試料等を記入して下さい。そのもののSDSがない場合は、類似物質や構成物質のSDSを確認しても構いませんが、“不明”と記入しても結構です（特性が不明の場合、安全対策が必要です）。なお、無害（有害）とは人に対する無害性（有害性）の意。但し、生物試料で人および動植物への感染・伝染性や感作がある場合、その旨も記入して下さい。

\*\*5：対策（無害以外）は、フィルムシートに密封（密封した状態で持ち込み、開封せずに測定し、そのまま持ち帰る）、保護メガネ・手袋・マスク等着用、試料搬送導入機で真空中搬送、窒素充填バッグ中で装置へ導入等。但し、生物試料で特性欄に「人および動植物への感染・伝染性や感作がある」旨の記入がある場合、滅菌・固定化または密封等、無害化の方法を記入して下さい。

（記入例）ホルマリンにて滅菌・固定、プラスチックに包埋等。

\*\*6：無害以外はSDSを必ず本申請書類に添付し、○印を記入して下さい。

\*\*7：使用目的は、測定、器具洗浄等。

\*\*8：無害以外は研究センターのホームページを参照し、化学物質のリスクアセスメントの結果を“リスクレベル/評価段階(例：1/4)”の形式で記入して下さい(http://www.saga-ls.jp/main/915.html)。

※**個人情報の取り扱いについて**：個人情報の適正な取り扱いの確保に関する規程（公益財団法人佐賀県産業振興機構個人情報保護規程）の趣旨に基づき、お預かりした個人情報は本申込に係る手続きにのみ使用し、他の目的には使用しません。